

レジメン名	PEM + キイトルーダ
対象疾患名	非小細胞肺癌
1クールの日数	21日
催吐性リスク	軽度
その他注意事項	

No	薬剤名	標準投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	グラニセトロン注 デキサート注	1mg 50mL 6.6mg	点滴静注	15分	day 1
2	生食 キイトルーダ注	100mL 200mg		30分	
3	生食	50mL		5分	
4	生食 アリムタ(PEM)注	100mL 500mg/m <sup>2</sup>		10分	
5	生食	50mL		5分	

#### 【化学療法による主な副作用】

悪心、嘔吐、食欲不振、下痢、便秘、倦怠感、口内炎、発疹、腎障害、末梢神経障害

#### 【免疫療法による主な副作用】

間質性肺炎、大腸炎、肝障害、腎障害、皮膚障害、甲状腺機能障害、下垂体機能障害、1型糖尿病、重症筋無力症、神経障害、Infusion reaction

#### 【その他注意事項】

●PEM: 治療開始7日前より葉酸0.5mgを1日1回連日経口投与、ビタミンB12を1回1mg筋注する(9週間に1回)。NSAIDsや腎毒性を有する薬剤または腎排泄型薬剤と薬物相互作用あり(作用増強の可能性あり)。

●キイトルーダ: 免疫療法施行前に必要な検査を行う。胸部XP、心電図、造影CT検査も実施する。ルーチンの採血検査 + 以下の検査を1~3ヶ月ごとに施行する。

●間質性肺炎: KL-6 SP-D 胸部CT

●甲状腺機能障害: TSH FT4 FT3

●下垂体機能障害・副腎不全: ACTH コルチゾール

●1型糖尿病: 血糖 HbA1c C-ペプチド

●大腸炎: 内視鏡検査 造影CT

●肝障害: エコー 造影CT